

## 研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

急性心不全の単施設後ろ向き観察研究
<p><b>1. 研究の対象および研究対象期間</b></p> <p>2010年4月～2016年7月までに急性心不全で当院に入院となった方</p>
<p><b>2. 研究目的・方法</b></p> <p>急性心不全は一年死亡率約10%と予後不良の疾患です。高い再入院率を有する疾患で患者さんのQOLの低下を引き起こし、また社会的にも医療費増大の原因となることが予測されています。今回我々は当科に入院した急性心不全患者の臨床的特徴・転帰について後ろ向き解析を計画しました。本研究は学術研究であり、前身名の心臓血管カテーテル室・循環器センター（内科）に心不全入院した患者データを利用します。</p> <p><b>研究期間</b></p> <p>昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の許可を得てから2023年12月31日まで</p>
<p><b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b></p> <p>カルテ番号、病歴、使用薬剤、血液検査結果、胸部レントゲン写真結果、心臓超音波検査結果、予後（その後の経過）</p>
<p><b>4. お問い合わせ先</b></p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者 連絡先）</p> <p>所属：昭和大学横浜市北部病院 循環器センター 氏名：岡部 俊孝</p>